

News Release

2017年8月2日

東京スター銀行

株式会社アスラポート・ダイニングに対しシンジケートローンを実施

～ 食の六次産業化、外食・食品産業の海外展開を積極的に支援 ～

株式会社東京スター銀行(東京都港区、代表執行役頭取 CEO 佐藤 誠治)は、お取引先である株式会社アスラポート・ダイニング(JASDAQ、東京都品川区、代表取締役社長 森下 将典)の食品生産事業および食品流通事業の拡充ならびに海外展開の支援のため、同社に対し、約 20 億円のシンジケートローン(当初は当行が全額引き受けし、その後複数行へのシンジケートローン組成を予定)を実施しましたので、お知らせいたします。

外食産業においては、流通事業・生産事業への進出(六次産業化)や、日本食ブームを背景とする海外進出ニーズが高まっています。当行では、従前より外食産業の成長に着目しており、このようなお取引先の新たな取り組みに対応すべく、銀行内のインフラや、親会社である台湾の CTBC Bank(正式名称:中国信託商業銀行股份有限公司)の海外ネットワークを活用し、積極的な支援を行っています。

株式会社アスラポート・ダイニングは、中核である外食(販売)事業の成長を背景に、近年は流通事業、生産事業へと進出しています。国内はもとより海外においても、多層的に事業を構成する「食のバリューチェーン」の構築を積極的に進めております。同社は、この事業モデルの構築を進めるべく、食品・外食・流通関連企業との資本業務提携や M&A を行なっております。

当行は、上記のような同社のニーズに応えるべくさまざまな取り組みを行っており、本件シンジケートローンの実施もその一環となります。

当行は、引き続き、同社の食品関連産業における六次産業化や海外市場への進出の支援を行っていくとともに、一次産業、二次産業の企業との取引拡大を進め、食品事業全般へのソリューション提供を強化してまいります。